



2021年11月5日

各 位

会社名 日本空港ビルディング株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員兼COO 横田 信秋
(コード番号 9706 東証第1部)
問合せ先 専務取締役執行役員企画管理本部長 田中 一仁
(TEL. 03 - 5757 - 8409)

2022年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月7日の決算発表時に公表しました2022年3月期の連結業績予想を下記の通り修正しますのでお知らせします。

記

1. 連結業績予想

2022年3月期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

(金額の単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|---------|---------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 103,200 | △17,800 | △19,300 | △10,300 | △110円59銭 |
| 今回修正予想(B) | 69,500 | △35,100 | △37,700 | △21,300 | △228円70銭 |
| 増減額(B-A) | △33,700 | △17,300 | △18,400 | △11,000 | |
| 増減率(%) | △32.7 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (2021年3月期) | 52,572 | △59,020 | △57,320 | △36,578 | △445円92銭 |

2. 修正の理由

2022年3月期第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の発出、対象地域の拡大や期間延長等により、羽田空港の航空旅客数は、国内線で4割程度、国際線で8割程度、当初計画を下回りました。連結業績では、費用削減が進んだものの施設利用料収入や商品売上高が当初予想を下回ったことなどにより、売上高及び利益において予想を下回りました。

2022年3月期の連結業績予想におきましては、航空旅客数は段階的に回復することが見込まれるものの、当初計画と比較すると回復が遅れており、通期では国内線で3割程度、国際線で7割程度、当初計画を下回ることを想定しております。これにより、売上高及び利益ともに本年5月7日に公表した当初予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

※ 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上